



# ぞうぐみだより

2023年度  
2月号

社会福祉法人 尚徳福祉会 生麦保育園

暦の上では春を迎え、もうしばらくすると、冬からようやく解放されそうです。太陽の光も優しく降り注いでくれるでしょう。子どもたちは元気に登園し、歌をうたったり、戸外遊びや制作遊びを楽しんだり、保育園生活を満喫しています。今後は、卒園式の練習も多くなってきます。子どもたちの負担にならないよう残りの園生活も楽しめるようにしていきたいと思ひます。



## 高砂会 お正月交流会

先日、高砂会の方とのお正月交流会がありました。すごろくやカルタ、福笑いなどお正月ならではの遊びにみんな夢中になり、「これたのしいね」「もっとやりたい」と楽しげな声がたくさん聞かれました。園庭では、自分たちで手作りした凧を喜んで飛ばす姿があり、「みて！とんだよ」「わたしのたか〜い」「かぜつよいね！」と嬉しそうに保育者や友だちに教えていた子どもたちです。

## 凧作り

高砂会の日凧づくりをすることを伝えていたので楽しみにしていた子どもたち、カラーペンを使って、一人一人好きな絵を描きました。高砂会の方に見てもらったり、聞いたりしながら楽しい時間を過ごしました。完成すると、広げて飛ばしたい気持ち一杯の様子でした。

## おにのお面作り

「2月3日は何があるかな？」と聞くと「節分！」と元気な声で答えていました。紙皿に何色鬼にするのか自分で決めて、楽しんで色塗りをしました。髪の毛は毛糸をつけて、顔はそれぞれ鬼のイメージに描いていました。出来上がると、個性豊かな鬼のお面を被り、鬼になりきる子どもたちの様子を当日、楽しみにしています。

## ☆☆☆☆☆☆ 1月の様子 ☆☆☆☆☆

年末年始の休み明けの登園は、久しぶりの友だちとの再会を喜び、お休み中の楽しかった出来事を嬉しそうに話している子どもたちでした。楽しかった思い出を朝の集まりで話をして、絵に描いてみました。それぞれ会話をしながら思い思いの絵が出来ました。室内に飾り始めると、「これは〇〇ちゃんのだね」と友だちの絵にも興味を持っていました。戸外遊びでは、乳児クラスがいると嬉しそうに「〇〇ちゃん！」と声を掛けると、りす組の子も嬉しそうに反応しています。ぞう組の遊びにも興味を持って、「いれて」と言ってくる子に遊び方を教えたり、誘ったりとお互い一緒に遊ぶことを楽しんでます。りす組の子に名前を覚えてもらい、呼ばれると嬉しそうな表情をしています。クラスでは、ドッチボールや竹馬と体を動かす遊びや砂場では、小集団で協力し合いながら、山作りに熱中している姿も見られます。水をかける人、固める人、穴を掘る人と役割分担を決めて楽しんでます。作り上げるとみんなで作り上げた喜びや達成感を味わい満足そうな様子です。

## お知らせ

- ・2月22日(木)お別れ遠足で『はまぎん子ども科学館』に行きます
- ※一日の遠足になりますので、お弁当の準備をお願いします。
- ※当日は、往復電車で行きます。※詳細は別紙でお知らせします。

